

～活動事例発表(発言要旨)～



理事・事務局長 白幡 均氏

【鶴岡管工事協同組合】

所 在 鶴岡市遠賀原字稲荷11-14
組合員数 28社
代 表 者 代表理事 櫻井 俊夫
組合事業 組合員のためにする共同施設の設置
組合員の行う管工事及び上下水道に係る維持管理業務の共同受注
教育情報事業
福利厚生事業

1 組合を取り巻く現状と課題

規制緩和による同業者（一人親方）の増加やリーマンショック以降の長引く不況により組合員の体力は極端に落ち込みを示し、経営悪化や後継者不足によって組合員の減少（現在28社）が続いています。加えて、技術者の高齢化や公共事業発注量の減少により配管技術者が現場経験ができず、災害時、復旧業務に対応できない状況が懸念されます。若手技術者の育成が課題となっています。

2 組合としての取組と実施事業

- ・鶴岡市上下水道部が発注する料金徴収等業務と開閉栓・メーター交換業務及び浄水場管理業務等を受注し、特別目的会社（SPC）を設立して組合は開閉栓・メーター交換業務を担当、組合員の協力と職員で実施。
- ・公道上の漏水等を一括組合が受注し、組合員に依頼し施工。
- ・平成29年10月から上下水道部での漏水調査委託事業が廃止されたことに伴い、個人管理となっているメーター以降の漏水調査業務を開始。
- ・各種講習会の実施。
- ・組合員と従業員を含むビアパーティー及び組合員の視察・研修旅行を実施。

3 組合事業に取り組んでの今後の課題

包括委託に関連する業務は組合として職員を採用（現在8名）し業務に当たっていますが冬期間はどうしても仕事量が手薄となることから冬期間の業務確保が課題となっています。又、組合員の組織のスリム化によって漏水修繕業務への即時対応が困難となっています。

4 将来に向けた今後の対応

市町村による水道経営から経営の効率化、災害時の対応などを見据えて広域ブロック毎の経営が研究・検討されているとお聞きしています。この中でも水道事業を運営するパートナーとして「官公需適格組合」を掲げ、技術的側面で協力しお手伝いできればと考えています。

官公需適格組合とは・・・

中小企業の中でも、官公需の受注に対して特に意欲的であり、かつ受注した契約は十分に責任をもって履行できる体制が整備されている組合であることを中小企業庁（経済産業局）が証明しているのが官公需適格組合です。



副理事長 浅黄 敬之氏

【協同組合山形流通団地】

所 在 山形市流通センター2-3
組合員数 95社
代 表 者 代表理事 坂部 登
組合事業 金融、不動産賃貸、保険代理、共同警備、共同駐車場、教育研修、福利厚生各事業

1 組合を取り巻く現状と課題

本組合は昭和48年の設立以来、集団化のメリットを不断に迫及することで長年地域の雇用を支え、又商品安定供給の要として地域経済に大きな役割を果たしてきました。

また地域のみならずへの貢献として毎年実施しております「山形流通団地まつり」は、今年も9,000名を超えるお客様からご来場いただきました。

しかしながら、近年の流通形態の激変により、地方の卸売業者は大変厳しい環境にあります。また設立から40年が経過し、組合員の世代交代、構成員の変化も進みました。

そのような中で組合に求められる機能も変化していることを実感しているところです。

2 組合としての取組と実施事業

組合を取り巻く厳しい状況を踏まえつつも、「夢のある将来像」を話し合い、新たな組合ビジョンを作成するべく、平成28年度に中央会の「組合機能強化支援事業」を活用し、ビジョン検討委員会を発足させました。委員は若手の理事5名にお願い